

# かいらく LIFE



5月20日(金)、利用者3名と付添職員2名で個別外出として三本木まで出かけました。三本木道の駅では、園のみんなにお土産を買ったり、名物の「ひまわりソフトクリーム」を食べたり大満足で、終始笑顔が絶えませんでした。道の駅構内にある「亜炭記念博物館」を見学しました。亜炭の性質や利用法、地域における採炭の歴史などの関連資料等が展示してあり、展示物や写真を見て回りました。その後、みんなでランチを食べ、偕楽園に戻ってきました。帰りの車中では「楽しかった、また行きたいね！ありがとう」と喜びの声を聞くことができました。



新任・転入者紹介

生活支援ワーカー  
我妻 栞  
趣味  
読書  
ゲーム

栄養士  
加藤 朋子  
趣味  
散歩  
ラーメン食べ歩き

主査  
高橋 信行  
趣味  
旅行  
水泳

主査(看護師)  
佐藤 敦子  
趣味  
食べ歩き  
料理

支援課長  
相澤 照美  
趣味  
ダンス(ツイスト)  
グルメ食べ歩き

## 退職・転勤職員

新天地でのご活躍をお祈りします！

第一支援係長	犬飼 千好	(定年退職)
運転業務補助員	高橋 政夫	(契約満了による退職)
生活支援ワーカー	下山 重彦	(契約満了による退職)
主 幹	佐藤 彰子	(和風園へ異動)
第二支援係長	管野 秀子	(和風園へ異動)
総務係長	星 知子	(事務局へ異動)
栄養士	長井 めぐみ	(船形コロニーへ異動)



## 編集後記

今年度第1号となります。編集メンバーも変わり、新たにスタートとなります。偕楽園の行事の様子、利用者さんの生活を随時お伝えしていきたいと思ひます。年間4回発行していきますので、楽しみにお待ちいただくと幸いです。

## ～今後の行事～



日帰り旅行



孟蘭盆供養会



長寿を祝う会

ご意見、ご感想はこちらまで！！

なごみなの里地域福祉サービスセンター 養護老人ホーム 偕楽園

〒981-3623 黒川郡大和町小野字前沢31-1

TEL: 022-346-2221 Eメール: p-kairaku@gamma.ocn.ne.jp

FAX: 022-346-2222 URL: http://www.miyagi-sfk.net/nago



新年度に入り早くも3ヶ月が経ち、梅雨の季節となりました。今年も紫陽花が綺麗に咲き、偕楽園の畑の野菜も雨の恵ですくすくと育っています。

利用者のみなさんも過ごしやすい時期を迎え(入院している方が1名いますが)元気に畑の手伝いをしたり、テレビを見て楽しんだり、デイサービスに出掛けたりと、それぞれの時間をその方なりに過ごしています。ただ、今年の夏はとんでもない猛暑だと予想されており、利用者のみならずには、夏バテしない元気な体を目指して、規則正しい生活を送っていただいています。

さて、偕楽園の利用者平均年齢が年々上がり、今年は82歳となりました。また、90歳を超える方が13人になりました。以前であれば夜抜け出して飲み屋から連絡が来ることもあったとか、年

を重ね、ひとりで外出する方はいますが、抜け出して飲み屋に行くほどの猛者はいなくなっています。また、(ホッとするやらさみしいやら...) 我々職員は、利用者の皆さんが健やかでそして笑って過ごして頂けるよう、となりにならんで同じ目線で支援していきます。そして、我々職員も「今日もいい1日だった」と言えるように共に生活していきたいと思っておりますので、皆様のご支援・ご協力の程、宜しくお願い致します。



ともこのおすすめレシピ(その1) スッキーニと卵の炒めもの



ズッキーニは皮を剥かずにそのまま調理ができます。比較的簡単に調理できるので、朝食の一品としておすすめです。この野菜は宮城県と栗原市が力を入れて生産しているもので、生産量は東北で「一、二を争うほどです。地元で採れる食材を使った一品です☆

材料(4人分)

- ズッキーニ 1本
- 卵 2個
- ハム 2枚
- 牛乳 15cc
- 砂糖 5g
- 塩 4g
- 塩コショウ 0.6g
- オリーブオイル 適量



作り方

- ズッキーニを5ミリ幅の輪切りにする。
- ハムも5ミリ幅にスライスする。
- 卵をボウルに割り、牛乳とAを入れて混ぜ合わせる。
- フライパンにオリーブオイルを入れて加熱する。
- ズッキーニを入れて炒める。ズッキーニに半分くらい火が通ったら、ハムを入れて炒める。
- 最後に卵を入れ、菜箸でかき混ぜながら塩コショウで味を整えて出来上がり。



昭和13年3月、南三陸町で7人兄弟の三男として生まれました。幼少期はとても活発で、父親を手伝い畑仕事をしました。その頃から太平洋戦争が始まり、食べる物や着る物にも困る生活を送ったのを今でもはっきりと覚えています。その後、小学校に通いはじめると、戦争も終わりましたが、より一層生活に困窮し、学校へ通うこともできなくなりました。家の畑仕事や炭焼きをしながら過ごしていました。

13歳になり、父親の知人の農家で畑仕事や田植えの仕事をしましたが、益や正月も家には帰してもらえないままにひたすら農作業に汗を流す日々が続きました。私が25歳になる頃にはその仕事もなくなりました。一番上の兄貴と出稼ぎに出ることになりました。体ひとつで東京・大阪・名古屋・浜松など、日本全国を働いて回っていました。当時は木炭車



での移動が多かったです。仕事内容は、ガラス工場働いたりしていました。

年を取り、南三陸町の特別養護老人ホーム慈恵園をショートステイで利用し、そこで生活していました。そして、平成23年2月、偕楽園に入所することが決まり、今の高橋園長さんに連れてきて頂きました。そして、その1ヶ月後にあの東日本大震災が起きました。私の元いた慈恵園は高台にありましたが津波が到達し、たいへん凄惨な有様になっていました。偕楽園に連れてきてくれた園長さんには感謝してもきれません。

今では偕楽園での生活も長くなってきて、静かな毎日を送っています。三食・風呂・昼寝付きでとても幸せに感じています。

偕楽園の畑

畑を一生懸命やって下さっていた職員が3月いっぱいまで退職され、畑の作物もさびしい思いをしていました。最後に作付してくれた「やえなぼう」「玉ねぎ」「じゃが芋」はすくすく育ち素晴らしい収穫になっていきます。4月からは、畑を手伝っていただくボランティアさんが来てくれることになりました。まさにこれこそ「天の助け」と言えますか、「渡りた船」と言うべきか、素人集団の私たちでもなんとか皆さんの食事の付け合せに使えるくらいの野菜を収穫することができています。

毎日の収穫は、5人の美女軍団(平均年齢80近いですが)がお手伝いしてくれています。楽しくワイワイと頑張っていますので野菜もとても元気に育ってくれています。この調子で1年間頑張っていきたいと思います!!

